

## 第88回資産運用委員会 議事要旨

1. 日時：令和3年6月21日（月）10：00～11：50
2. 場所：KKRホテル東京 11F 丹頂
3. 参加者：神野委員長、臼杵委員長代理、小野委員、小幡委員、白須委員、菅原委員、玉木委員、山崎委員
4. 議事要旨

### (1) 令和2年度の運用状況及び運用リスク管理の状況について

事務局から、厚生年金保険給付積立金、退職等年金給付積立金、経過的長期給付積立金の令和2年度の運用状況及び運用リスク管理の状況について説明があり、それぞれの積立金の管理運用の方針に則り運用が行われたこと、適切なリスク管理が行われたことが確認された。

委員からは、以下の意見等があった。

- ・市場環境が良好だったこともあり、全体としての絶対的なリターンは問題なく、運用の管理という意味でもルールどおりであったことが確認できた。
- ・株価が今後どのように推移するかは不明だが、パフォーマンスにはアセットアロケーションが大きく影響するため、どのようにリバランスするかが重要である。今後、株価が下落したときにどう対応するのか、しっかり確認しておいて欲しい。
- ・複合ベンチマークに対してリターンがどうだったのか、運用を評価する上では一番大事である。
- ・リーマンショックのように環境が激変した際に、いかに能動的、フレキシブルに対応することができるかが重要である。長期の運用だとしても、最適なアクションを取るべきだと思う。

### (2) 令和2年度 業務概況書について

事務局から、厚生年金保険給付積立金、退職等年金給付積立金、経過的長期給付積立金の令和2年度の業務概況書について説明があり、事務局案に賛同することとされた。

委員からは、以下の意見等があった。

- ・ 政策ベンチマークから乖離する性質をもっているものは、インデックスファンドであってもアクティブ運用である。E S Gインデックスファンドは、アクティブ運用として投資に値するかどうかを検討すべきである。
- ・ E S Gを考慮した投資について、株式はエンゲージメントをしてくれるという条件下であれば賛成するが、債券は株式以上にエンゲージメントが難しいことから、いわゆるグリーンウォッシュなどに留意する必要がある。

### (3) その他

事務局から、気候関連財務情報開示タスクフォース（T C F D）へ賛同したことについて報告があった。

以 上